

RCB大口夢

「この街を元気に！」
子育て応援事業



メイン活動＝子供食堂

日頃商売をさせてもらっているこの街に
「何か自分たちが出来る事は無いか？」と
近隣の飲食店オーナーたちとよく話していました。
私達には店舗がある。食材も調理器具も揃っており、
資格や免許を持ったプロにしか出来ない、

「食の安全」を

孤食になりがちなお年寄りや地域の子供たちに
温かい想いとして届けられるのではないかと
そんな気持ちを持った飲食店オーナー7名と共に
この活動を始めたのが6年前。

飲食店がグループで行う、全国初の子ども食堂として
私たちの任意団体はスタートしました。





大口夢地域食堂カレンダー

注意！全店完全予約制に変更になりました。

2024年 3月

予約方法
公式LINE & 電話
TABIMAにて受け付けます

この
事業は
大同生命ビジネス
パートナー
助成事業で行っています

TABIMA 開催時間：11：00～18：00（テイクアウト可）

大口通17-2 ☎045-642-8096

SPICE nine ビル配管工事中の為4月中旬まで休業

大口通138-23番兵庫ビル2 ☎045-947-3105

Bar Take☆s 開催時間：11:00～14:00（テイクアウトのみ）

神之本町2-45スターホームズ1F ☎045-401-3325

iknow 開催時間：17:30～18:30（テイクアウトのみ）

入江町2-19-3フェニックス2F ☎045-717-6611

☆フードパントリー 提供：NPO法人セカンドリーグ神奈川・公益社団法人フードバンクかながわ
開催場所：TABIMA・SPICE nine・Bar Take☆s・呉竹類・ゆの類・iknow・Café-relif-d

大口夢
登録用公式LINE



下記は地域食堂開催予定表です。（1開催 最大20食、20食予約受付時、順次終了致します）

（店内飲食）：小中学生・ひとり親・非課税世帯・年金生活者 1食 0円

その他の利用者：当社査定に基づく

（テイクアウト）：全ての利用者 + 1食100円

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7 iknow	8 Bar Take☆s	9
10	11	12	13	14	15	16 TABIMA
17	18	19	20	21 iknow	22 Bar Take☆s	23
24/31	25	26	27	28	29	30 TABIMA パントリー

アレルギー：スタッフにお尋ねください
保 険：飲食店として加入すべき保険に入っております
（全てに適用するとは限りません。ご了承くださいませ）

RCB大口夢地域食堂は下記企業様からの、支援を受けて実施しています。

一般財団法人
岩崎与四郎育英会

医療法人社団 翠洋会
長谷川 医院

子どもオポチュニティー
スクラブ 基金

地域の福祉活動の為、
ご協力をお願い致します。

公益社団法人
フードバンクかながわ

NPO法人
セカンドリーグ神奈川

神奈川県生活困窮者支
援団体応援協力会

その他ご支援頂いた、たくさんの行政・企業・個人様に感謝申し上げます。



お問合せ・予約先：NPO法人 RCB大口夢

メールアドレス：info@ooquchiyume.com

ホームページ：https://ooquchiyume.com/

RCB大口夢

検索



各店舗がスケジュールを組んで、
営業時間外に順番に開催することにした。



問題や課題が次々と。

② **我々が来て欲しいと思っていたターゲット層が来ない。**

「生活困窮者やひとり親家庭、様々な問題を抱えるひとたちをどうやって探す？」

＝地域の民生委員にチラシを配布してもらったり声掛けをお願いしてみた。

＝「そこに行ったら家は貧乏なんだ、って周りにバレちゃう！」と言われてしまう。

★通常営業中に、一般のお客様と合同で子ども食堂を開催し、誰でも気軽に来店できる様工夫した。

② **徐々に来店人数が増えると共に、店舗の負担は当然大きくなった。**

＝従来の常連さんの席を確保できなくなり、店舗自体の売上を圧迫するように。

余った食材で開催していたが、当然不足になり、ただ仕入れと人件費が増える状態。

この活動に参加していた店舗は半数まで減ってしまった。

★行政の指導の元、任意団体からNPO法人を設立し、必要経費は助成金を取って運営することに。1食あたり¥300～¥400を助成し、負担を軽減した。

コロナが始まる。

②「私たちに今、出来る事は無いのか。」

開催側にも、利用者にも負担が少ない様、ようやく準備が整い始めた頃だった。

コロナウイルス感染症が日本中を駆け巡り、この活動どころか営業すらままならなくなった。

ステイホームにより、外出や人と会う事すら出来なくなり、完全に活動はストップ。

＝採択された助成金は期限までに使い切らなければならない。

＝苦勞して取った助成金をなんとか正しく使い切りたい！

＝毎日食事の準備を余儀なくされたママ達の助けになりたい。



全ての人に、温かいお弁当を家族で食べられる「テイクアウト」に変更。



全国的に子ども食堂が飽和状態に

①「助成金が取れなくなった」

一度採択されたところは「2回まで助成します、3回目はご遠慮ください」

大体の募集团体にすでに応募済で新規がほぼ無くなった。



利用者を所得ごとに金額設定し、食支援が本当に必要とする方のみ予約制にし、食数を減らした。(月12回開催・月平均167人)

②打開策＝“フードパントリー開催”

子ども食堂の食数が減った代わりに、私達に出来ることとして考えたのが「**フードパントリー**（食材自体の無料配布）」。

より多くの方の手に渡るよう月12回開催。7. 8. 9月合計利用人数は168人。月平均で56人ほどが集まった。

1ヶ月に300食以上のお米や冷凍食品などをフードバンク等に申請し、

大手企業やデパートなどから余った食材を有効に各家庭に届けることが出来、**フードロスの解消**に大きく役立っていると感じています。

そして、今年度よりタブレットを用いた**学習支援**を企画中。2024年4月から本格始動します。

そして、我々の**原点**である**子ども食堂**はこれからも続けて行きたいと思えます。

ご予約は不要です。
お気軽にお越しくださいませ。

===フードパントリー詳細===

- 時間 16時～18時
- 料金 無料
- 対象 小学生、中学生

===== 備考 =====

- ・お一人 1セットまで
- ・当日、受付にて「氏名」「学年」のご記入をお願いいたします。
- ・受け取りは、対象のお子様のみ